



▲「八幡平の樹氷と岩手山」

撮影者：滝沢市在住 畠山 昇氏

迎春

消防岩手

定価 1部60円

-発行所-

(公財)岩手県消防協会

郵便番号 020-0021

盛岡市中央通3丁目
7番22号

電話 019(654)3991

FAX 019(654)3992

E-mail: isk@iwate-shokyo.jp

<https://iwate-shokyo.jp/>

印刷所

盛岡市本町通2丁目

河北印刷株式会社

「令和元年度全国統一防火標語」

ひとつずつ いいね!で確認 火の用心

〔この機関紙は、日本消防協会からの援助により発行しているものです〕

年頭の挨拶

岩手県知事 達増拓也

令和二年の新春を迎え、公益財団法人岩手県消防協会の会員の皆様、年頭の御挨拶を申し上げます。貴協会、消防職員及び消防団員の皆様におかれましては、日頃から、地域の安全・安心の確保のために多大な御貢献をいただいております。心から敬意を表しますとともに感謝を申し上げます。



近年、全国で自然災害が頻発しており、昨年十月の台風第十九号による豪雨は、東日本の広い範囲に甚大な被害を及ぼしました。本県でも、平成二十五年の「特別警報」運用開始以降、初めて大雨特別警報が発表され、東日本大震災津波からの復興が進む沿岸部を中心に、内水の氾濫や浸水、土砂災害が発生し、三名が犠牲となりました。また、住家や昨春全線開通した三陸鉄道を始めとする交通網に甚大な被害を受けており、県では、早期の復旧復興に向けて取組を進めているところです。

地元の消防職員、消防団員の皆様におかれましては、火災現場だけではなく、このような自然災害においても、懸命な活動をされているところであります。安全で安心して暮らせる社会の実現を願う県民の消防に寄せる期待は一層大きいものとなっております。

こうした中、昨年は、第二十四回全国女性消防操法大会に、北上市消防団女性隊が岩手県代表と

して出場し、日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮され、見事に優良賞に輝いたことは、大変喜ばしく、消防分野における女性の活躍と防災体制の強化を推進していく上でも、大きな一歩となりました。

県では、今年度からスタートした「いわて県民計画(2019～2028)」において、「自助」「共助」「公助」による防災体制づくりを掲げ、東日本大震災津波や平成二十八年台風第十号などの経験や教訓を基に、頻発する自然災害から自分の身を守る力を県民一人ひとりに備えていただくために、様々な取組を進めています。その中でも、「共助」については、地域コミュニティにおける防災体制の強化を図ることとし、「いわて消防団応援の店登録事業」による消防団員の加入促進、機能別消防団員制度の導入促進、女性消防職員の加入促進や、女性消防職員の活躍・キャリア形成支援などにより、消防職員の確保に向けた取組を進めてまいりますので、皆様には今後ともお一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新年が災害のない希望に満ちた一年となりますこと、また、公益財団法人岩手県消防協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を御祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

新年のご挨拶



(公財) 岩手県消防協会
会長

山下 修治

令和二年の輝かしい新春を迎え、消防関係者の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

消防職員、消防団員の皆様方には、常日頃から、地域住民の生命・身体・財産の保全のため、火災を始めあらゆる災害に対し、昼夜を分かたず、献身的に職務にご精励されておりますことに、心から敬意と感謝を申し上げます。

今日、消防の任務及び活動は、火災予防、警防、救急救助をはじめ、地震や風水害などの自然災害

総力結集でのりこえましょう

新春ごあいさつ

(公財) 日本消防協会
会長

秋本 敏文



明けましておめでとうございます。今年が無事平穏なよい年でありますようお祈り申しあげます。しかし、最近の災害発生状況では、今年、無事平穏でということはむづかしいかもしれせん。そのようななか、岩手県消防の皆様が地域の安全のためご尽力頂いていることに、深く感謝し、敬意を表します。ありがとうございます。

それにしましても、最近の火災、災害には日本だけでなく世界中で思いがけないものが多くなっているように思われます。台風や局地的大雨等による災害は後を絶たず、昨年の台風十九号は岩手県にも大きな被害をもたらしました。しかし、消

への対応等広範囲にわたり、様々な場面で地域住民の安全・安心の確保に大きな役割を果たしているところであります。

しかしながら、一向に減ることのない火災や自然災害に対し、地域住民の防災への意識も高まり、消防への期待もますます大きなものとなっております。

近年も、地震や台風、局地的豪雨など全国各地で大規模な自然災害が相次いで発生しており、本県におきましても、昨年の台風第十九号により東日本大震災で被災した沿岸部を中心に再び甚大な被害をもたらしました。

このような中、昨年の第二十四回全国女性消防操法大会において、岩手県代表として出場した北上市消防団女性消防隊が、日頃の訓練の成果を存分に発揮して優良賞に輝いたことは、県民の誇りであるとともに、女性の活躍が消防の分野にも浸透している表れのひとつでもあり、大変心強く感

防はこれを「想定外」といつてすます訳にはまいりません。生命を守り抜くことができるように、自らの安全を守りながら全力を尽くさなければなりません。それは、容易なことではありませんが、あらゆる知恵、力を動員しなければなりません。その時に考えるべきことは、いろいろな面での総力結集ではないでしょうか。

私は、防災の原点は「地域」だと申しあげてきました。地震、台風などいろいろな災害が発生した時に、その地域の自然的社会的条件のもとで、火災も含めてどのような事態があり得るのか、その時どのような対応をするか、こうしたことは、最終的には、それぞれの地域の状況に応じて日頃から考え、いざという時には力を合わせて必要な行動をとらなければならぬでしょう。

もうひとつ、以前とは異なる面が見られる近年の火災、自然災害のさまざまな経験をこれからの消防防災の教訓として活かさなければならぬのですが、そのためには、消防機関はもとより、学者、研究者、行政関係者、消防機器メーカーなど、

じております。

私も消防団は、地域防災力の充実強化をより一層推進するため、更に団結を強固にし、消防防災体制づくりに邁進しなければならぬと考えております。

当協会といたしましては、消防職員、消防団員の福利厚生事業の充実を図りつつ、消防の持つ使命の重要性を深く認識し、県民の安全・安心の確保のため、今後とも各種事業を積極的に推進して参る所存でございます。

どうか皆様におかれましても、心新たに安全な地域づくりのため、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、今年一年が、災害のない平穏で素晴らしい年でありますようご祈念申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

中広い消防防災関係者の間で率直な意見を交換しながら、知識、経験を総合的に活かしていく、総力を結集する、いわば消防防災総合力を高めていくことが必要ではないかと思われまふ。

こうした総力結集を進めていくうえで、消防機関の皆さんが、日常の活動のなかでお持ちになっている地域の皆さんとの強いつながり、あるいは現場活動で身につけられたさまざまな知識経験は大変貴重なもの、大きな力になるものだと思います。

今、新しい日本消防会館の建設を進めています。が、新しい会館は、皆さんのご意見を頂きながら、さまざまな視点を含めて、日本消防発展の総合的中核拠点として貢献できるものにしなければなりません。

いろいろな課題がございますが、今年も皆さんとご一緒に日本消防のさらなる発展のため努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。最後に県内の無事平穏、岩手県消防の皆様のご健勝ご多幸を心からお祈り申しあげ、新年のごあいさつとさせていただきます。

年頭の辞



総務省消防庁

長官

林 崎 理

令和二年の新春を迎えるに当たり、全国の消防関係者の皆様に謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。皆様方には、平素から消防防災活動や消防関係団体業務などに御尽力頂いており、心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

昨年は、台風やその影響による集中豪雨等の幾多の自然災害に見舞われ、また7月には京都市伏見区の爆発火災が発生したことなどにより、多くの方々が犠牲になりました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災され

年頭の御挨拶



岩手県消防長会

会長

中 村 俊 行

令和二年の輝かしい新春を迎え、県内の消防関係者の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様方には、火災はもとより、自然災害などの災害から地域住民の安全・安心を確保するため、昼夜を問わず献身的に御尽力されておりますことに、衷心より敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

さて、昨年は、六月から八月の九州地方を中心に広い範囲で発生した梅雨前線に伴う豪雨災害、九月の千葉県を中心とした台風第十五号による強

た方々に心からお見舞い申し上げます。

また、災害現場においては、被災地の消防本部や地元消防団はもとより、被災状況により県内消防応援隊や緊急消防援助隊も総力を挙げて救急・救助活動等に当たって頂き、多くの人命を救助して頂きました。改めて皆さんのご活躍・ご尽力に敬意を表しますとともに、心から御礼申し上げます。振り返れば、平成は、阪神淡路大震災を受けた災害対策法制の見直し（平成七年）、緊急消防援助隊の法律への位置づけ（平成十五年）、東日本大震災（平成二十三年）を受けた相互応援の強化や住民の円滑かつ安全な避難の確保など、我が国においては不可避である大災害の不幸な経験を経つつ、被害の最小限化を目指して不断の努力を積み重ねてきた時代でした。

新たな令和の時代におきましても、これまでの災害等による先人達の犠牲を決して無駄にすること

風災害、十月の関東地方から東北地方にかけて甚大な被害をもたらした台風第十九号による河川氾濫や浸水害等のほか、七月の京都市で発生したアニメーション制作会社放火火災、十月の那覇市で発生した首里城火災など、全国各地で住民の生活を脅かす大きな災害が発生しており、安全・安心に対する住民の関心が高まるなか、我々消防に寄せられる期待は、ますます大きくなっております。

また、最近の消防を取り巻く環境は、南海トラフ地震や首都直下地震などの大規模災害を見据えた緊急消防援助隊の充実強化や地域防災力の中核となる消防団及び自主防災組織等の充実強化、防火対象物及び危険物施設の火災予防対策、また、消防防災分野における女性消防職・団員の更なる活躍推進、消防団への大学生等の更なる加入促進など、様々な対応が求められている状況であります。私達消防に携わる者としては、日頃か

が無いよう、今後発生が危惧される南海トラフ地震や首都直下地震等の大規模災害等に備え、被災への各種施策の一層の推進に取り組んでまいります。

また、昨年は、G20大阪サミット、ラグビーワールドカップ2019及び皇位継承式典等という大規模で歴史的な行事が続く、消防庁としても、関係府省庁及び各自自治体・消防本部と連携し、安心・安全対策に取り組む、万全な消防・救急体制を整えたところです。

本年はいよいよ夏に2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。皆様方におかれましては、国民が安心して暮らせる安全な地域づくりとそれを支える我が国の消防防災・危機管理体制の更なる発展のため、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々の御健勝と御発展を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

ら地域に密着し、火災や大規模な自然災害が発生した際に大きな役割を果たす消防団員の確保をはじめ、これまで以上に迅速かつ的確な災害対応を可能とする広域的な応援体制の整備のほか、本年七月から八月にかけて開催されます東京2020オリンピック・パラリンピックでのテロ災害等への備えなど、あらゆる災害に即応できる消防防災体制の充実を図り、地域住民の信頼と負託に応える必要があります。

皆様方におかれましては、県民が安心して安全に暮らせる災害のない街づくりのため、誇り高い消防の使命のもとに、引き続き御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益財団法人岩手県消防協会の益々の御発展と皆様方の御健勝と御多幸、そして、本年が災害のない平穏無事な一年となりますことを心から祈念申し上げます。年頭の御挨拶といたします。

令和元年秋の叙勲受章者伝達式

(消防関係)

令和元年秋の叙勲伝達式が十二月十二日(木)東京都港区虎ノ門の日本消防会館「ニッショーホール」において、総務大臣を始めとし総務省、消防庁関係者が出席のもと挙行されました。

秋の叙勲受章者(消防関係)は六〇三名で、本県からは十一名が受章の栄に浴され、その内伝達式には四名の方々が出席されました。

受賞者は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防衛するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会福祉の増進に寄与された方々であり、栄えある受章を心からお祝いを申し上げます。



瑞宝単光章

- 阿部 政夫氏(元平泉町消防団分団長)
- 小野寺 勝美氏(元藤沢町消防団分団長)
- 菊池 佳朗氏(元一関市消防団副団長)
- 佐々木 勝志氏(元花巻市消防団副団長)
- 佐藤 守正氏(元一関市消防団副団長)
- 菅原 登光氏(元千厩町消防団分団長)
- 滝口 幸一氏(元岩手町消防団副団長)
- 千葉 協一氏(元川崎村消防団分団長)
- 徳田 雅博氏(元雫石町消防団団長)
- 前川 幸雄氏(元岩泉町消防団分団長)
- 村上 勲氏(元一関市消防団副団長)

危険業務従事者受章者伝達式

危険性の高い業務に従事した消防職員を対象とした「第三十三回危険業務従事者叙勲」伝達式が十二月十日(火)総務省講堂において、総務大臣を始めとし総務省、消防庁関係者が出席のもと挙行されました。

危険業務従事者叙勲(消防関係)受章者は六一八名で、本県からは八名が受章の栄に浴され、伝達式には六名の方々が出席されました。

栄えある受章を心からお祝い申し上げます。

瑞宝双光章

- 阿部 榮吉氏(元一関市消防司令長)
- 小林 文雄氏(元盛岡地区広域行政事務組合消防司令長)
- 高橋 一氏(元胆江地区消防組合消防司令長)
- 千葉 繁氏(元奥州金ケ崎行政事務組合消防監)

瑞宝単光章

- 石井 英雄氏(元釜石大槌地区行政事務組合消防司令)
- 磯嶋 邦男氏(元二戸地区広域行政事務組合消防司令)
- 金澤 純二氏(元宮古地区広域行政事務組合消防司令)
- 菅原 正博氏(元盛岡地区広域消防組合消防司令)



消防長異動

◎辞任 消防長(令和元年10月31日)

陸前高田市消防本部消防長 堺 伸也

◎就任 消防長(令和元年11月1日)

陸前高田市消防本部消防長

戸羽 進



「岩手県民の消防団員表彰」

矢巾町消防団・川村友美 副本部長が受章

読売新聞社盛岡支局とテレビ岩手の主催による第六十一回「岩手県民の警察官・消防職団員」表彰式が去る十一月二十一日(木)午後二時から盛岡市松尾町の盛岡劇場メインホールにおいて挙行されました。



▲表彰状を授与される川村・副本部長

本年度の「岩手県民の警察官表彰」には、一関警察署厳美駐在所・菅原公夫巡査長が、「岩手県民の消防職団員表彰」には、矢巾町消防団・川村友美副本部長が受章の栄に浴されました。

表彰式は、選考委員長からの選考経過が報告され、来賓祝辞、主催者挨拶の後、受章者それぞれに対して表彰状及び表彰盾が贈呈されました。

■川村友美副本部長の主な功績

◎略歴

1960年1月生まれ。矢巾町出身。59歳
1982年、矢巾町消防団に入団。第2分団第8部に所属(勤続37年10か月)

◎主な功績

2016年2月15日未明に発生した矢巾町南昌地区公民館火災では、消火活動の指揮を執り、火勢が強く現場に消火栓が少なく隣接の林野や老人福祉施設への延焼危険があることから、到着する消防団各部を的確に指導し、消防ポンプ車数台により中継送水体制を作り、被害を最小限に食い止め、地区住民、消防団員から高く評価された。

第24回全国女性消防操法大会成績表

順位	都道府県	消防隊名	タイム(秒)	総合得点
優勝	熊本県	八代市本部女性消防隊	46.56	89.5
準優勝	佐賀県	唐津市女性消防隊	51.43	86.5
準優勝	山口県	和木町女性消防隊	52.02	84.5
優秀賞	三重県	伊賀市女性消防隊	53.01	81.5
優秀賞	埼玉県	三郷市女性消防隊	52.89	80.5
優秀賞	兵庫県	芦屋市女性消防隊	51.72	80.0
優良賞	石川県	加賀市女性消防隊	52.82	80.0
優良賞	愛知県	瀬戸市女性消防隊	50.23	79.0
優良賞	岐阜県	山県市女性消防隊	52.33	78.5
優良賞	岩手県	北上市女性消防隊	55.15	77.5
優良賞	香川県	三豊市女性消防隊	50.24	77.5
優良賞	千葉県	浦安市女性消防隊	52.01	76.5

日本消防協会主催の第二十四回全国女性消防操法大会が十一月十三日(水)横浜市・横浜赤レンガ倉庫イベント広場において開催されました。

大会は、四十七都道府県の出場隊が郷土の名譽を担って日頃の訓練成果を競い合いました。本県代表の北上市消防団女性消防隊は、第二コース十三番目に出場し、地元北上市など多くの応援団が見守る中、日頃の訓練成果が存分に発揮された見事な操法を披露し、全体十番目の成績で優良隊として表彰されました。

北上市消防団女性消防隊の皆様、大変お疲れさまでした。



▲北上市消防団女性消防隊の競技の様子

第24回全国女性消防操法大会

北上市消防団女性消防隊「優良賞」受賞

令和元年度 岩手県消友会

「親睦紅葉鑑賞会」

開催する

岩手県消友会では、恒例の親睦紅葉鑑賞会を、去る十一月十九日(金)花巻温泉「ホテル千秋閣」において開催いたしました。

当日は、来賓に山下修治・岩手県消防協会長をお迎えし、小山田舜次郎会長を始め会員三十四名が参加し、久しぶりの再会の方もあり、和やかなひと時を過ごされ盛会裏に開催することができました。



▲参加された消友会員の皆様

會長	宮古市消防団長	山下 修治
副會長	北上市消防団長	菊池 一人
業務執行理事	盛岡市消防団長	栗石 眞一
〃	一関市消防団長	佐藤 隆士
〃	二戸市消防団長	新畑 鉄男
〃	奥州市消防団長	小原 勝喜
消防団長	盛岡市消防団長	栗石 眞一
〃	宮古市消防団長	山下 修治
〃	大船渡市消防団長	猪股 拓也
〃	花卷市消防団長	鎌田 幸也
〃	北上市消防団長	菊池 一人
〃	久慈市消防団長	廣崎 康一
〃	遠野市消防団長	松田 克之
〃	一関市消防団長	佐藤 隆士
〃	陸前高田市消防団長	河野 吉昭
〃	釜石市消防団長	山崎 長榮
〃	二戸市消防団長	新畑 鉄男
〃	八幡平市消防団長	工藤 十九
〃	奥州市消防団長	小原 勝喜
〃	滝沢市消防団長	柳村 明
〃	雫石町消防団長	上屋敷俊彦
〃	葛巻町消防団長	橋本 秀雄
〃	岩手町消防団長	松村 昭一
〃	紫波町消防団長	阿部 秀夫
〃	矢巾町消防団長	柏田 隆
〃	西和賀町消防団長	赤石 昭
〃	金ヶ崎町消防団長	千葉 正男
〃	平泉町消防団長	千葉 勇夫
〃	住田町消防団長	佐藤 清司
〃	大槌町消防団長	越田 政美



謹賀新年
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます
(公財)岩手県消防協会

営業品目
シバウラ小型消防ポンプ、ニッキ消防自動車
ホース乾燥塔 NAホスポール
操法用ホース販売、各種消防用機材及被服

県知事許可（般-27）第6269号

有限会社 文林商会

代表取締役 吉田 良一

本 社／一関市滝沢字鶴ヶ沢 7-59
TEL 0191-21-1119 (代)

盛岡営業所／盛岡市好摩字夏間木83-122
TEL 019-682-0800

三陸営業所／上閉伊郡大槌町上町2-12
TEL 0193-42-8090

消防團長	山田町消防團長	內館 秋雄
〃	岩泉町消防團長	八重樫芳令
〃	田野畑村消防團長	上村 繁幸
〃	普代村消防團長	三船 隆久
〃	輕米町消防團長	小野寺祐治
〃	野田村消防團長	式又 文雄
〃	九戸村消防團長	山本 篤
〃	洋野町消防團長	明戸 実
〃	一戸町消防團長	山下 正勝
消防長	盛岡地区広域消防組合消防長	中村 俊行
〃	宮古地区広域行政組合消防長	古沢 隆
〃	一関市消防長	菊地 和哉
〃	釜石大槌地区行政事務組合消防長	金野 裕之
〃	奥州金ヶ崎行政事務組合消防長	阿部 保之
〃	久慈広域連合消防長	大粒栄輝行
〃	花巻市消防長	笹間 利美
〃	北上地区消防組合消防長	佐藤 晃
〃	大船渡地区消防組合消防長	橋本 洋治
〃	遠野市消防長	菊池 久人
〃	陸前高田市消防長	戸羽 進
〃	二戸地区広域行政事務組合消防長	田中 長治

営業品目

日本機械消防自動車
 ジェットホース
 各種消防用被服 消防団員絆襪
 ホース洗浄機・乾燥機

トーハツ小型消防ポンプ
 ジェットシューター
 FV防火衣・ゴアテックス雨衣
 屯所用火車乾燥塔

操法最適
トーハツ小型ポンプ
VC72プロⅢ
大型アルミ2基真空ポンプ付

実感してください！ 操法大会最適ホース。
ジェットホースコンペ%
NEWアスリート3/NEWアンカー3

第1～2線用 最適ホース 第3線用 最適ホース

創業
昭和22年

互光商事株式會社

代表取締役 玉川 康介

本社／紫波郡矢巾町広宮沢11-501-14
☎ 019-639-0505 (代)

株式会社 オノデラサイン

営 業 品 目
 のぼり・ミニのぼり・旗・横断幕・懸垂幕
 バナー・半纏・のれん・タスキ・ハンカチ
 風呂敷・手拭い・ポール・販促用品・POP用品
 ノベルティグッズ

■本社
〒028-6103 岩手県二戸市石切所字荷渡 7-11
TEL 0195-22-1333 FAX 0195-22-1334

■盛岡営業所
〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通 1-5-16
TEL 019-613-6674 FAX 019-613-6675

株式会社古川ポンプ製作所
岩手県一関市山目字中野34-2
TEL0191-25-5221

単独型 ブザー+音声タイプ
SS-210/EJシリーズ



住宅用警報器の交換時期が近づいていましたら、お気軽にご相談ください。
消火器の廃棄処分も承っております。※有料です。

消防・防災用品のプロフェッショナル



松栄商事株式会社

消防施設工事業 岩手県知事許可(般-29)第4461号
<http://www.shoeishoji.com/>

◎本社/盛岡市天神町13-27 Tel. 019-623-4364
 ◎二戸営業所/二戸市石切所字荷渡1-9 Tel. 0195-43-4100
 ◎奥州営業所/奥州市江刺八日町一丁目5-5-2 Tel. 0197-47-3464
 ◎宮古営業所/宮古市上鼻二丁目3-15 Tel. 0193-65-7080

防災・避難用品インターネットショップ→ [しょうえいねっとショップ](#) [検索](#)



消防防災トータルサポート
株式会社
岩手総合商事
代表取締役 橋本 智和
〒029-0132
一関市滝沢字草刈場135-20
TEL:0191-48-4433
FAX:0191-48-4432